

令和5年度全国学力・学習状況調査の本町の結果について

令和5年度に実施した全国学力・学習状況調査の結果について、本町の概要をお知らせします。

なお、本調査によりお示した各教科の数値は〔知識及び技能〕〔思考力・判断力・表現力等〕の一部です。また、学習状況調査により〔学びに向かう力・人間性等〕の傾向を測定したものです。これらの結果をもとに「生きる力」の育成に向けた教育活動の充実に努めてまいります。

【調査の目的】

児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するものです。

【調査対象】

小学校第6学年及び、中学校第3学年

【調査事項】

1 教科に関する調査

小学校調査は、国語及び算数。中学校調査は、国語、数学及び英語の学力を問う。

2 質問紙調査

調査対象の児童生徒に関し、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等について、その状況を把握する。

【結果概要】

1 教科に関する調査

(1) 各教科における本町と全国の平均正答率

校種別／教科		国 語	算数・数学	英 語
小学校	川島町	68	64	未実施
	埼玉県	68	62	
	全 国	67.2	62.5	
中学校	川島町	72	52	46
	埼玉県	71	52	46
	全 国	69.8	51.0	45.6

(2) 各教科における分析 ※◇は成果と捉えられるもの ◆は課題と捉えられるもの

小学校「国語」

- ◇ 14問中6問が国の正答率を上回っています。
- ◇ 「知識・及び技能」に関する問題では、7問中4問が国の正答率を上回っています。
- ◇ 「思考力、判断力、表現力等の A話すこと・聞くこと」では、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができています。
- ◇ 日常でよく使われている敬語について、理解できています。
- ◆ 「思考力、判断力、表現力等の A話すこと・聞くこと」では、目的や意図に応じて話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題があります。
- ◆ 「思考力、判断力、表現力等の B書くこと」では、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように工夫して書くことに課題があります。
- ◆ 「思考力、判断力、表現力等の C読むこと」では、目的に応じて、書かれている内容を要約したり、文章と図表を結び付けて必要な情報を見つけたりすることに課題があります。

小学校「算数」

- ◇ 16問中11問が国の正答率を上回っています。
- ◇ 「A 数と計算」「B 図形」「C 変化と関係」「D データと活用」全ての領域で国の正答率を上回っており、特に「B 図形」は大きく上回っています。
- ◇ 「B 図形」では、四角形の特徴を捉え、意味や性質についてよく理解できています。
- ◇ 「C 変化と関係」では、伴って変わる二つの数量に着目し、変化の特徴を読み取ったり、関係性について式や言葉を用いて記述したりすることができています。
- ◆ 「A 数と計算」では、一の位が0である2位数の乗法の計算に課題があります。
- ◆ 「D データの活用」では、二次元の表から条件に合う数を読み取ることに課題があります。

中学校「国語」

- ◇ 15問中11問が国の正答率を上回っています。
- ◇ 「知識及び技能」に関する問題では、7問中5問が国の正答率を上回っています。
- ◇ 「知識及び技能の(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」では、文脈に即して漢字を正しく書くことが非常によくできています。
- ◇ 「思考力、判断力、表現力等の A話すこと・聞くこと」では、話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問すること、また、聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることや自分の考えを書くことが非常によくできています。
- ◇ 「思考力、判断力、表現力等の C読むこと」では、文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりすることが非常によくできています。

- ◆「知識及び技能の（２）情報の扱い方に関する事項」では、意見と根拠など情報との関係について理解しているかに課題があります。
- ◆「思考力、判断力、表現力等の C読むこと」では、観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることに課題があります。

中学校「数学」

- ◇15問中7問が国の正答率を上回っています。
- ◇「B 図形」では、ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することが非常によくできています。
- ◇「C 関数」では、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に証明することがよくできています。
- ◆「B 図形」では、空間における平面が同一直線状にない3点で決定されることを理解することに課題があります。
- ◆「D データの活用」では、累積度数の意味を理解しているかに課題があります。

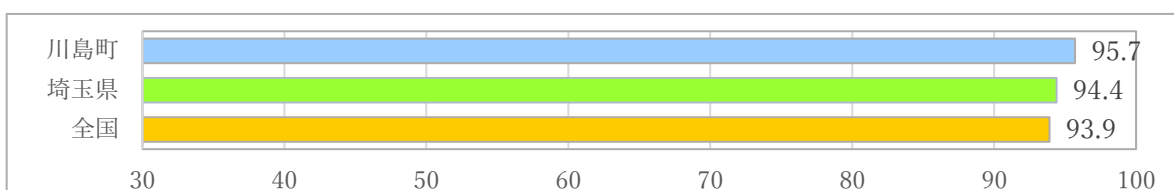
中学校「英語」

- ◇17問中7問が国の正答率を上回っています。
- ◇「聞くこと」では、情報を正確に聞き取ることが非常によくできています。
- ◇「読むこと」では、社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることについて非常によくできています。
- ◇日常的な話題に対して、必要な情報を聞き取る力が国より上回っています。
- ◆「聞くこと」の日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることに課題があります。
- ◆「書くこと」の未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことや、疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことに課題があります。

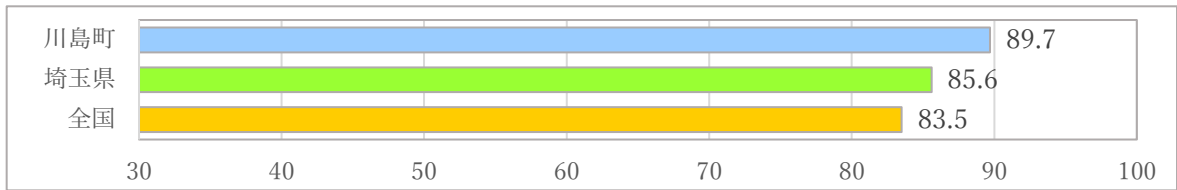
- 2 質問紙調査 ※質問事項は、69項目から埼玉県教育委員会が公表している10項目
 ※「している（当てはまる）」「どちらかといえばしている（どちらかといえば当てはまる）」を合わせた値

(1) 児童質問紙調査

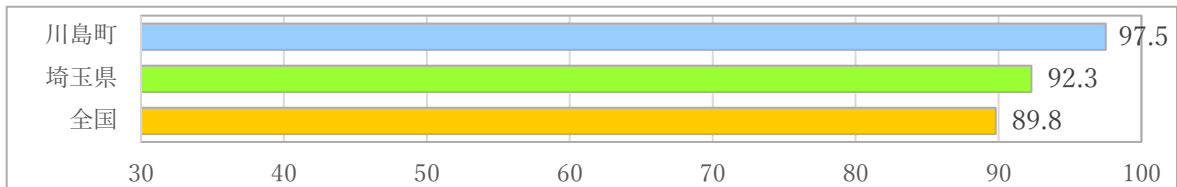
- ① 朝食を毎日食べている。 (単位%)



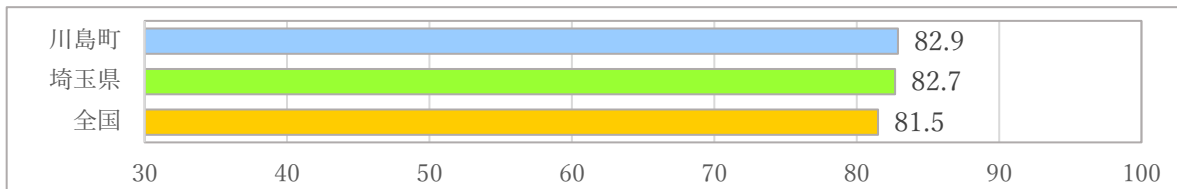
② 自分にはよいところがある。



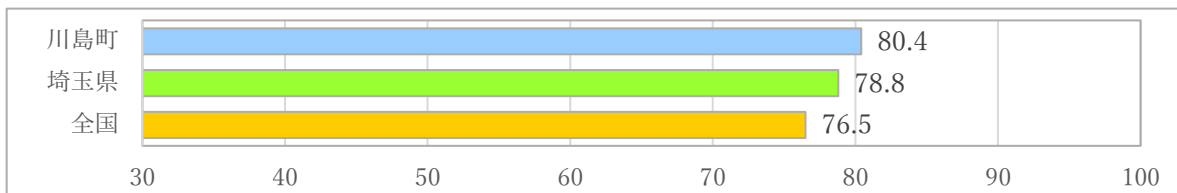
③ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。



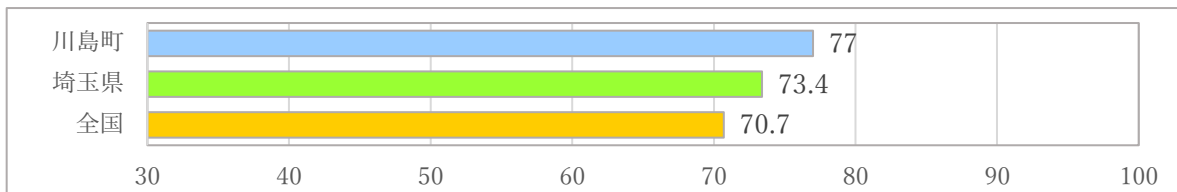
④ 将来の夢や目標を持っている。



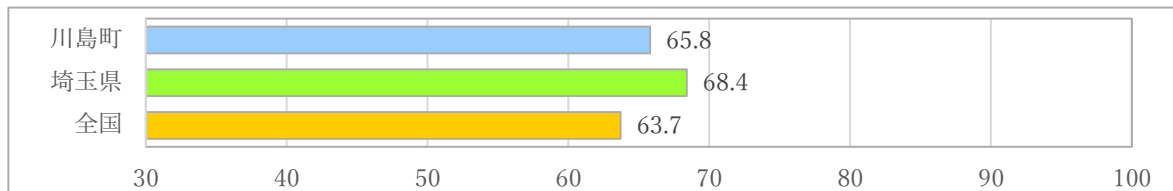
⑤ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。



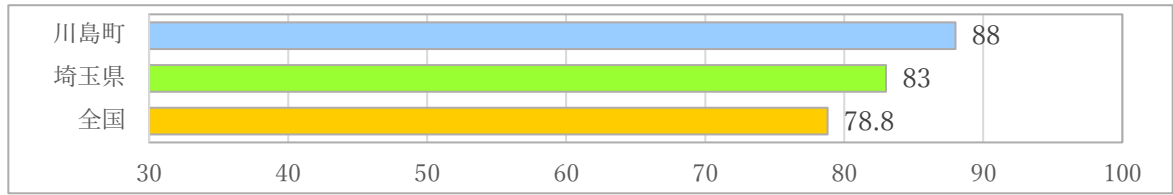
⑥ 家では自分で計画を立てて勉強をしている。(学校の授業の予習や復習を含む)



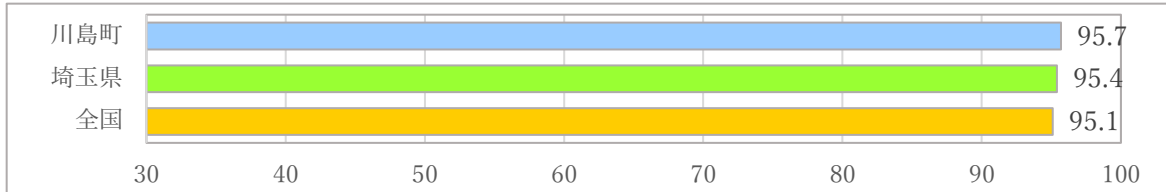
⑦ 前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。



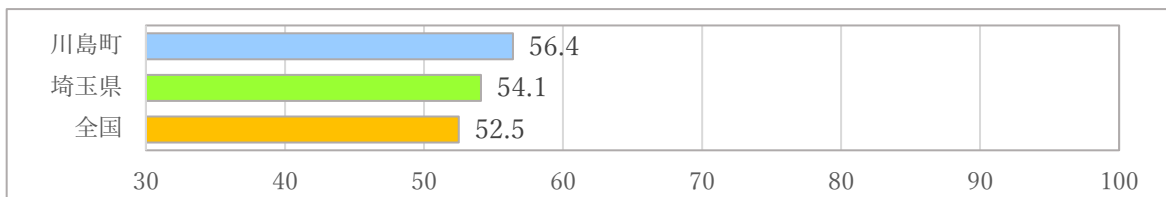
⑧ 前年度までに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。



⑨ 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強に役立つと思う。



⑩ 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり、職業に就いたりしたいと思う。



分析 ※◇は成果と捉えられるもの ◆は課題と捉えられるもの

◇「自分にはよいところがある」「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と感じている児童の割合は、国を上回っています。家庭や学校生活を通じ、自己肯定感が高い児童が育っています。

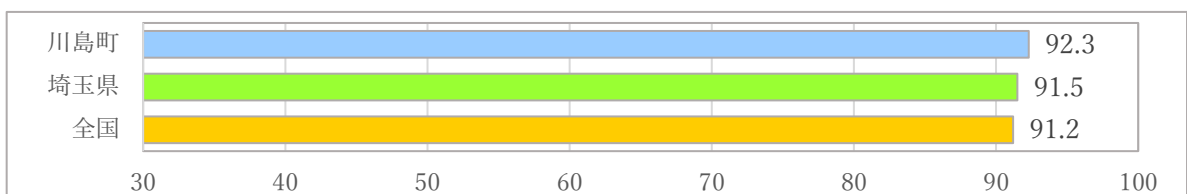
◇「家では自分で計画を立てて勉強をしている」「前年度までに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童の割合は、国よりも大きく上回っています。『主体的に学習に取り組む態度』が多くの児童にしっかりと身についています。

◇「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり、職業に就いたりしたいと思う」児童の割合は国を大きく上回っています。川島町における英語教育をより一層推充実させていく必要があると考えられます。

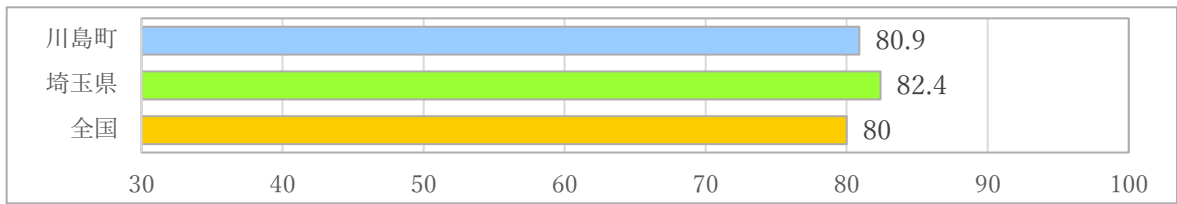
◆「前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」児童の割合が比較的低くなっています。

(2) 生徒質問紙調査

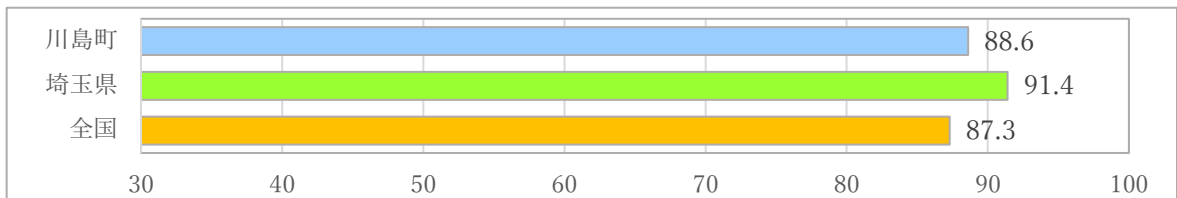
① 朝食を毎日食べている。



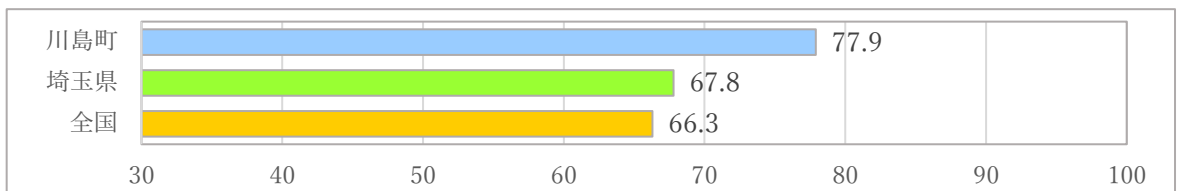
② 自分にはよいところがある。



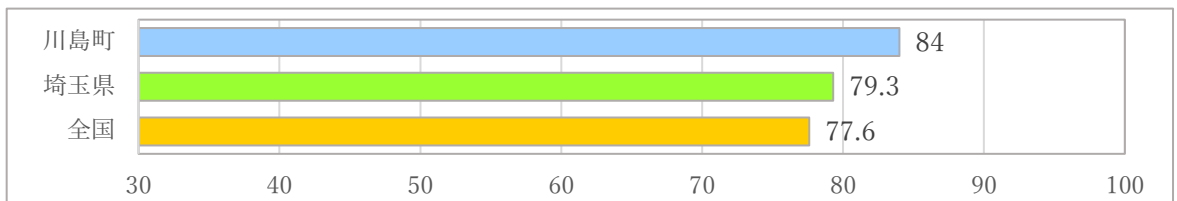
③ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。



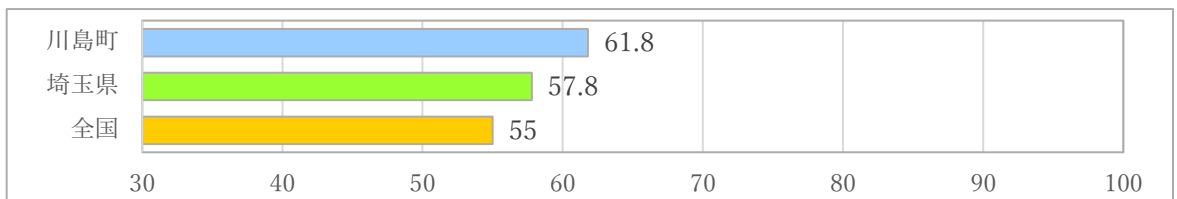
④ 将来の夢や目標を持っている。



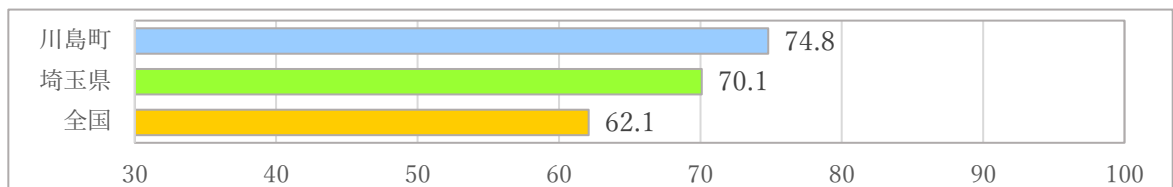
⑤ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。



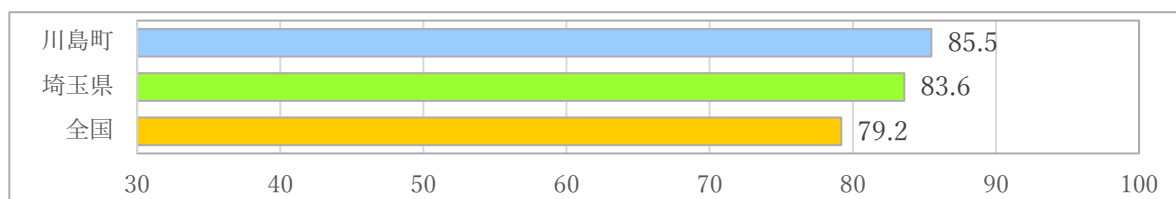
⑥ 家では自分で計画を立てて勉強をしている。(学校の授業の予習や復習を含む)



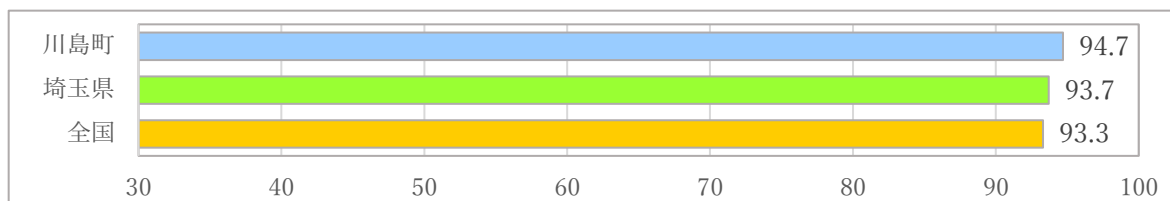
⑦ 前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。



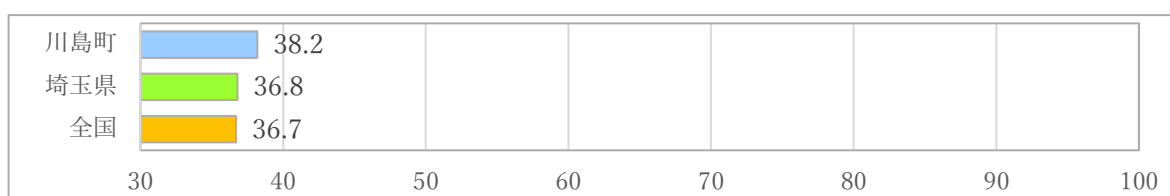
⑧ 前年度までに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。



⑨ 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強に役立つと思う。



⑩ 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり、職業に就いたりしたいと思う。



分析 ※◇は成果と捉えられるもの ◆は課題と捉えられるもの

◇「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒の割合が、国を上回っています。

◇「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」「家では自分で計画を立てて勉強している」「前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」と回答した生徒の割合が国より高くなっています。『主体的に学習に取り組む態度』が多くの生徒にしっかりと身についています。

◇「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり、職業に就いたりしたいと思う」生徒の割合は国を上回っています。川島町における英語教育をより一層充実させていきます。

◆「自分にはよいところがある」と感じている生徒の割合が県より低くなっています。自己肯定感を持てる生徒の育成に努めていきます。

◆「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と感じている生徒の割合が県よりも低くなっています。生徒のよいところを一層認めていくことが必要です。

3 児童生徒質問紙と教科の平均正答率との関係について

授業において、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表すること。また、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいくことと教科の平均正答率との相関は大きいものがありました。

この他にも、家で自分で計画を立てて勉強をしていること。家庭学習に取り組む時間、家庭にある本の数などとも相関が見られました。

4 教育委員会及び各小中学校での学力向上に向けた取組

各学校では、結果を分析し「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善に努めています。また、学校課題研究に基づいた授業を他校にも公開し、異校種間での参観を積極的に行い、学び合い事業を深めています。

教育委員会としては、平成28年度より秋田県横手市に各学校から職員を派遣し、秋田型授業を取り入れた授業改善を支援しています。昨年度は、新たに「授業スタンダード」を作成し、“主体的に学ぶ子”の育成に努めています。

また、私塾と連携した英検受験ガイダンスの実施や英検の受験料を無料（小学生・中学生ともに年1回を対象とする）にするなど英語教育にも力を入れています。

さらに、家庭学習用のノートを全児童生徒に3冊配布しています。

今後も“輝く瞳（知） あふれる笑顔（徳） 光る汗（体）”をキャッチフレーズとて各学校を支援してまいります。

5 ご家庭へのお願い

調査結果からは、子ども達の家庭における生活習慣（読書活動、学習時間、スマホ・ゲーム使用時間等）や学習習慣と各教科の平均正答率には相関性が見られました。これからもご家庭と学校が課題を共有し、連携を図っていくことが重要だと思えます。ご家庭におかれましても生活習慣や学習環境等に一層目を向け、子ども達と向き合う時間を大切にしてくださいようお願いいたします。

本町の教育の基本理念「共に学び 絆を深め 未来を拓く かわじま教育」（川島町教育大綱より）の推進に向け、保護者・地域の皆さまには、ますますのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。